

所蔵品展

2026 Collection Exhibition 1
Special Section 1: Maruyama Junko, Breathing Garden
Special Section 2: New Acquisitions 2025

再オープン記念 第1期所蔵品展

特集1：丸山純子展

特集2：新収蔵作品展

2026年9月5日(土)－2027年1月17日(日)

休館日：10月5日(月)、11月2日(月)、12月7日(月)、12月29日(火)～1月4日(月)

横須賀に在住する丸山純子は、人々の生活の痕跡や記憶が残る、身の回りの素材を用いながら「再生」や「循環」をテーマに制作を続けています。本展においては、廃材、石鹸などを扱いながら、しなやかな生命を感じさせる、非日常的な風景へと再構成するインスタレーションを発表します。また、スーパーのビニール袋やレジ袋を素材に、新たな試みを加え、花畑をワークショップ参加者と共に制作、展示します。



丸山純子《無音花畑―横須賀》展示風景、2026年
撮影：中川達彦

企画展

Ghibli Park Exhibition

開館20周年記念

ジブリパーク展

2027年2月11日(木・祝)－5月14日(金)

休館日：3月1日(月)、4月5日(月)

スタジオジブリ作品の世界を表現した公園施設「ジブリパーク」。“来てみなけりや、わからない”その楽しさをぎゅっと凝縮した展覧会です。見どころはなんといっても“体験型”であること。貴重な資料の展示はもちろん、大人も子どもも「みて、さわって、まわって楽しい」工夫を随所に凝らしました。スタジオジブリの世界に迷い込み、遊びつくすなかで得られる心に残る“あなただけのワクワク”を、ぜひ会場で見つけて、受け取ってください。

* 観覧料等詳細は、ホームページ等であらためてお知らせします。



© Hayao Miyazaki

谷内六郎館／別館 TANIUCHI Rokuro Pavilion

再オープン記念 第1期谷内六郎展

月のひかり、星のきらめき

『週刊新潮』表紙絵と絵本『びんのそら』より

The Moon's Glow, the Stars' Twinkle
Cover illustrations for *Shukan Shincho* and illustrations for *Sky in a Bottle*

2026年9月5日(土)－2027年1月17日(日)

休館日：10月5日(月)、11月2日(月)、12月7日(月)、12月29日(火)～1月4日(月)

第2期谷内六郎展

雨の日の夢

『週刊新潮』表紙絵と絵本『ぎんのわっか』より

Dreaming on a Rainy Day:
Cover illustrations for *Shukan Shincho*
and illustrations for *The Silver Hoop*

2027年1月23日(土)－5月9日(日)

休館日：2月1日(月)、3月1日(月)、4月5日(月)



谷内六郎『ぎんのわっか』より 1970年 当館蔵 ©Michiko Taniuchi

開館
時間

10:00-18:00

休館日

* 毎月第1月曜日(祝日の場合は開館)
* 年末年始 12月29日(火)～1月3日(日)

観覧料

〔所蔵品展 谷内六郎館〕一般 450(360)円

高校生・大学生・65歳以上の方 350(280)円

〔企画展〕各展覧会によって異なります。中面の各展覧会欄をご覧ください。
〔企画展のチケットで、所蔵品展、谷内六郎館もご覧になれます。ただし、ジブリパーク展開催中は、所蔵品展は休室となります。〕

* ()内は20名以上の団体料金

* 次の方は所蔵品展、谷内六郎館および企画展(ジブリパーク展を除く)を無料でご覧になれます。

- ・中学生以下
- ・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様
- ・高校生(市内在住または在学に限る)

無料
観覧日

所蔵品展、谷内六郎館を無料でご覧になれます。

11月3日(火・文化の日)、

2027年2月14日(市制記念日[2月15日]に直近の日曜日)

交通の
ご案内

■電車をご利用の場合

* 京急線「馬堀海岸」駅またはJR「横須賀」駅から観音崎ゆきバス〔須24／須28／馬24〕で「ラビスタ横須賀観音崎テラス・横須賀美術館前」下車徒歩2分

* 京急線「浦賀」駅から観音崎ゆきバス〔浦3〕で終点「観音崎」下車徒歩5分

■車をご利用の場合

* 横浜横須賀道路馬堀海岸ICから約3km(約5分)

■駐車場 8:00-22:00 無休

普通自動車(120台) * 高さ制限2.1m	最初の1時間320円 以降160円/30分 上限1,600円/日
自動二輪車・ 原動機付自転車	1回210円
バス等	1回1,570円(事前の予約が必要です。詳しくはお問い合わせください。)

* 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料。〔価格はすべて税込み〕
自転車駐輪場／無料

横須賀美術館
YOKOSUKA MUSEUM OF ART

〒239-0813 横須賀市鴨居4-1

問い合わせ先：横須賀市コールセンター 046-822-4000

(月～金：8:30～17:15 土日・祝休日：8:30～16:00)

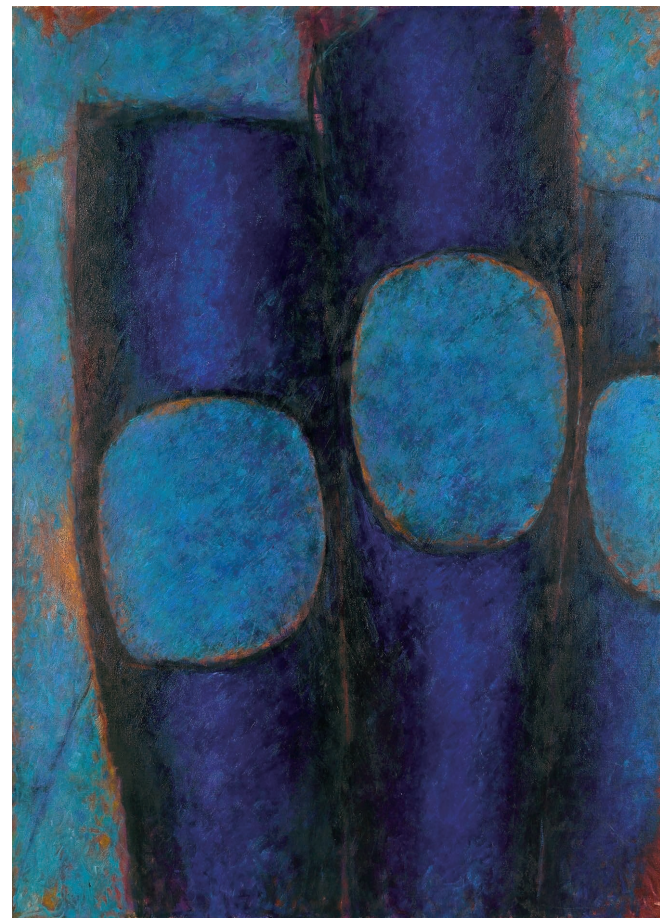
<https://www.yokosuka-moa.jp/>



Exhibition Schedule 2026 September -2027 March

展覧会スケジュール

2026年9月－2027年3月



辰野登恵子《UNTITLED 96-5》1996年 当館蔵(令和7年度新収蔵作品)



「横須賀応援ふるさと納税」で横須賀美術館をご支援ください。
詳しくは→<https://www.yokosuka-moa.jp/oshirase/furusato.html>

2026.9 → 2027.3	9	10	11	12	1	2	3	4	5
休 館 日	7(月)	5(月)	2(月)	7(月)、29-31	1-3、4(月)	1(月)	1(月)	5(月)	未定

企画展	没後10年 横須賀美術館コレクションによる島田章三展 9月5日(土) ▶ 11月3日(火・祝)	生誕120年 三岸節子展 11月14日(土) ▶ 12月20日(日)	第79回児童生徒 造形作品展 1月9日(土) ▶ 1月25日(月)	トーベとムーミン展 —とっておきのものを探しに— 3月13日(土) ▶ 5月9日(日)
本館地階	第1期所蔵品展	特集1：丸山純子展 特集2：新収蔵作品展 9月5日(土) ▶ 1月17日(日)	企画展	ジブリパーク展 2月11日(木・祝) ▶ 5月14日(金)
谷内六郎館	月のひかり、星のきらめき 『週刊新潮』表紙絵と絵本『びんのそら』より 9月5日(土) ▶ 1月17日(日)			雨の日の夢 『週刊新潮』表紙絵と絵本『ぎんのわっか』より 1月23日(土) ▶ 5月9日(日)

※展覧会タイトル、会期、内容等は変更になることがあります。
※観覧料：()は20名以上の団体料金。(価格はすべて税込)
※企画展のチケットをお持ちの方は、所蔵品展、谷内六郎館もご覧になれます。(ただし、ジブリパーク展開催中は、所蔵品展は休室となります)

Reopening Exhibition
Shimada Shozo—VWorks from the Yokosuka Museum of Art Collection

再オープン記念
没後10年
横須賀美術館コレクションによる島田章三展

2026年9月5日(土)–11月3日(火・祝) 休館日：9月7日(月)、10月5日(月)、11月2日(月)

横須賀生まれの洋画家・島田章三(1933-2016)は、フランスで生まれた キュビズムを「日本人の言葉(造形)に翻訳」することを試み、幾何学的空間構成の中に日常的な情景を組み込んだ独自の人物表現「かたちびと」で具象絵画の可能性を追求しました。没後10年を機に、当館コレクションから横須賀を描いた油彩をはじめパリで描いた素描、版画にイーゼル、パレットなどの資料をあわせた約130点を初めて全点展示します。

観覧料 一般：1,200(960)円
高大生、65歳以上：1,000(800)円



島田章三《ミナトヨコスカ》2007年 当館蔵

Setsuko Migishi: A Retrospective — 120th Birth Anniversary

生誕120年 三岸節子展

オンライン
販売あり

2026年11月14日(土)–12月20日(日) 休館日：12月7日(月)

戦後日本を代表する画家のひとり、三岸節子(1905-1999)。夫・好太郎の早逝や、戦争を乗り越え、1954年に渡仏。のち南仏カニユやヴェロンを拠点として独自の風景画を完成させます。1964年に設けた大磯のアトリエで、晩年まで旺盛に制作しました。本展では、代表作、初出品を含む約70点により、「情熱の画家」の芸術を振り返ります。

観覧料 一般：1,500(1,200)円
高大生、65歳以上：1,300(1,040)円



三岸節子《室内》1939年 一宮市三岸節子記念美術館蔵 ©MIGISHI

Student's Art & Model Exhibition

第79回児童生徒造形作品展

2027年1月9日(土)–1月25日(月)

横須賀市立の小学校・中学校・高等学校・ろう学校・養護学校、すべての学校の子どもたちによる作品展。日頃の授業でつくり上げた平面作品や立体作品など約3,000点の展示を通して、子どもたちの制作意欲や作品への思いをお楽しみください。

観覧料
無料

第77回展示風景



TOVE JANSSON AND THE MOOMINS

開館20周年記念
トーベとムーミン展
—とっておきのものを探しに—

オンライン
販売あり

2027年3月13日(土)–5月9日(日) 休館日：4月5日(月)

ムーミンの生みの親で、絵画、絵本、小説など多方面で活躍したアーティスト、トーベ・ヤンソン。初期の油彩画や風刺画、ムーミン小説・コミックスの原画などの作品を通じて、トーベの創作世界とムーミンシリーズの魅力に迫ります。

※観覧料等詳細は、ホームページ等であらためてお知らせします。



トーベとムーミン展
—とっておきのものを探しに—